

令和7年度博物館教室

からむしを 績む



からむしは^{ちよま}苧麻、^おイト、苧などと呼ばれ、衣生活に欠かせない大切な植物素材でした。この講座では、昔の方法でからむしから繊維を取りだし、糸にして布を作ります。かつて自給自足の暮らしの中で培われた手仕事の営みを体感してください。



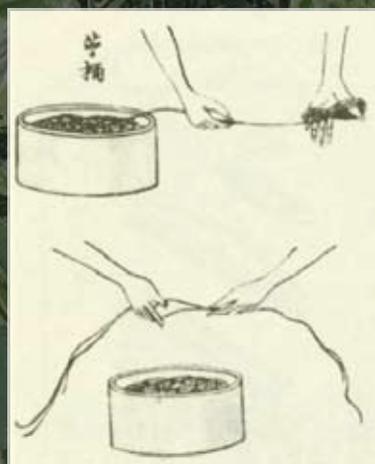
DAY1 6/19 THU

からむしの皮はぎと苧引き

時間：10:00～15:30

場所：実験教室

からむしが乾燥してしまうため、その日の内に作業を完成させないと、家での宿題となる場合があります。



DAY 2

からむしの苧績みと紡錘車

時間：10:00～15:30

場所：実験教室

自宅で乾燥させたからむしの繊維をつなげて一本の長い糸にします。その後紡錘車で撚りかけます。根気のいる作業です。

DAY 3

からむしで編む

時間：10:00～15:30

場所：実験教室

縄文時代の編み方でしおりやコースターを作ってみましょう。



服装持ち物

汚れても差し支えない服、エプロン、ゴム手袋、はさみ、スクレーパー

スクレーパー

- ・プラスチックでなく、金属のもの
- ・歯の幅は5cm前後がオススメ



講座の日程

日程は初回のみ決定しています。2回日以降は参加者の希望等で調整します。

申込方法

電話、はがき、FAX、E-mail のいずれかでお申し込み下さい。博物館総合案内で直接お申込頂くこともできます。受付開始日（4/23）から7日後までのお申込の方すべてを一旦仮登録とし、この間に定員を超えた場合は抽選となります。抽選となった場合は抽選後1週間以内に、落選の方のみに連絡いたします。当選の方や抽選にならなかった場合は、そのまま正式な登録となりますので、後日案内をお送りします。

お問い合わせ先

秋田県立博物館

〒010-0845 秋田市金足鳩崎字後山 52

TEL018-873-4121

FAX018-873-4123

E-mail info@akihaku.jp

定員：8名 受付開始日：4月23日（水）